

No.305  
1996年  
12月

# OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
113 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル3階  
電話(03)3815-3351代 Fax(03)3815-3352

## ●平成9～10年度役員候補者推薦のお願い

定款にしたがって平成9, 10両年度の役員を選出を行ないます。スケジュールは次のとおりです。  
平成9年1月31日(必着) 候補者推薦締切。 2月20日～3月20日 会員の書面による投票。  
3月末日 開票(予定)。 4月下旬 総会において決定。  
については、以下により候補者の推薦をお願いいたします。

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 監事 山本 保・矢島敬二

1. 役員(理事・監事)候補者については本人の同意を得たうえで、社員(正会員または名誉会員)5名以上が候補者の略歴をつけて推薦する(次の書式に従ってください)。
2. 候補者は社員でなければならない。
3. 理事は会務の分担ごとに選挙するので、分担を明示すること。今回選出する理事の会務分担および定数は次のとおりとする。副会長2名 庶務1名 国際1名 研究普及(研究)1名 編集1名 無任所(支部所属者)1名 他に研究普及(普及)1名(但し、任期は平成9年度のみ)
4. 監事の改選数は 1名

..... 切 り と り 線 .....

平成 年 月 日

### 役員候補者推薦届

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

平成9～10年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

- 副会長 庶務理事 国際理事 研究普及理事(研究) 編集理事 無任所理事  
研究普及理事(普及)(任期は平成9年度のみ) 監事として

\_\_\_\_\_ 氏を推薦致します。

推薦者(正会員および名誉会員5名以上)

(代表者) 氏名 \_\_\_\_\_ ㊞ (所属: \_\_\_\_\_)

\_\_\_\_\_ ㊞ \_\_\_\_\_ ㊞ \_\_\_\_\_ ㊞  
\_\_\_\_\_ ㊞ \_\_\_\_\_ ㊞ \_\_\_\_\_ ㊞

候補者略歴(18字×6行以内)

---

---

---

---

---

---

---

---

上記の推薦に同意します。

氏名 \_\_\_\_\_ ㊞ (所属: \_\_\_\_\_)

学  
会  
だ  
よ  
り

●日本OR学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年OR学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究奨励賞、学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞・事例研究奨励賞ソフトウェア部門を除き、平成9年1月31日といたしますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙をお早めに事務局宛にご請求ください。なお、5賞の概要は次のとおりです。

〔文献賞〕大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

- 1) 論文は独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与するものであること。
- 2) 論文はOR学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年(8年の1月1日より12月末日までに発行されたものをいう)に発表された論文であること。
- 3) 被推薦者はOR学会員で、年齢は原則として40歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

〔実施賞〕ORの実施を強く推薦してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、東亜燃料工業(株)、(株)日立製作所、中部電力(株)、兵庫県、中国電力(株)、(財)電力中央研究所、住友金属工業(株)、三菱石油(株)、川崎製鉄(株)、(株)東芝、日本電気(株)、田辺製薬(株)、(株)日通総合研究所、(株)構造計画研究所、松下電工(株)、(株)安川電機、東京ガス(株)、NTT研究開発本部等、企業が主な受賞者でした。

〔普及賞〕ORの普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、森村英典、後藤正夫、森口繁一、横山 保、河田龍夫、小林宏治、国澤清典、西野吉次、三根 久、松田武彦、近藤次郎、西田俊夫、梅沢 豊、齋藤嘉博、唐津 一、藤森謙一、三上 操、小田部 齋、原野秀永、千住鎮雄、依田浩、刀根 薫、松富武雄、児玉正憲、長谷川利治、御園生善尚、矢部 眞の各氏および新日本製鐵(株)、(株)富士銀行、日科技連グループ、日本IBM(株)、NTT、旧国鉄の各企業が受賞者でした。

〔事例研究奨励賞〕すぐれた事例研究に対して贈られます。個人に限らず、グループや企業も対象になりま

す。ただし、その研究は、学会誌等、本学会において発表されたものに限ります。なお、ソフトウェア部門は11月29日に締切りました。

〔学生論文賞〕学生による優れたORに関する研究に対して贈られるものですが、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文が対象となります。応募締切は平成9年3月31日といたしますが、詳しい募集要領は、OR誌2月号に掲載します。(表彰委員会)

●平成8年度第2回ORセミナー

「経営効率性の新しい評価法—DEA(包絡分析法)」

セミナーのねらいと参加のすすめ

事業体やシステムの効率性を評価する方法として、DEA(包絡分析法)はその直感的解釈の容易さ、改善方法の定量的提案が可能なることから最近、注目を集めているが、わが国ではまだ十分に利用されているとはいえない。本セミナーではまずDEA法とはどんな方法かを紹介するとともに、よく知られている多変量解析法がその中でどのように応用され得るかを説明する。そして今後の幅広い応用を期待して、色々な応用の仕方を紹介する。

日 時：1997年1月24日(金) 9:30~16:30

場 所：東京ガス(株)本社ビル13階1308会議室

(〒105 港区海岸1-5-20) TEL 03(3433)2111

( JR浜松町(橋上)駅南口下車徒歩5分 )  
( 地下鉄都営浅草線大門駅下車徒歩10分 )

オーガナイザー：上田 徹(成蹊大学)

プログラム：

9:30~10:50 「DEA法の概要」

刀根 薫(埼玉大学)

10:50~11:50 「企業体評価のための多変量解析法の応用」

上田 徹(成蹊大学)

13:10~14:10 「DEA関連手法を用いた事業体分析の事例研究」

山田 善靖(東京理科大学)

14:25~15:25 「債券市場におけるDEA分析」

清水 康司(青山学院大学)

15:25~16:30 「意思決定手法としてのDEAの応用」

住田 友文(電気通信大学)

参加費：正・賛助会員 25,000円、学生会員 5,000円、非会員 30,000円(協賛学協会の会員は正会員に同じ)

申し込み方法：11月号とじ込みをご利用いただくか、OR学会事務局に参加申込書をご請求ください。

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

協賛：経営情報学会，日本経営工学会，日本品質管理学会，日本社会情報学会，日本インダストリアル・エンジニアリング協会，（依頼中）日本科学技術連盟

### ●平成9年度春季研究発表会

日程：平成9年4月2日(水)～3日(木)研究発表会  
4月4日(金) 見学会

場所：九州大学文系講義棟  
(福岡市東区箱崎6-10-1)

特別テーマ：「ゆとりある都市生活とOR」

バブル崩壊以後，各地で都市開発の中止・縮小が行われていますが，九州の中核的都市である福岡では，次々と大規模な都市開発が進行しています。平成9年度春季研究発表会を福岡で開催するに当たり，ゆとりのある都市生活を実現する都市開発はどうあるべきか，また，その実現に対してORが果たすべき役割は何かを議論したいと考え，『ゆとりある都市生活とOR』を今回の特別テーマとしました。

会期は例年桜が満開になる福岡のベストシーズンですので，奮ってご参加ください。

実行委員長：松山久義（九州大学工学部）

実行副委員長：時永祥三（九州大学経済学部）

発表申し込み締め切り：12月20日(金) (必着)

発表形式：(A)特別テーマ，(B)部会報告，  
(C)特別セッション，(D)一般発表

発表方法：①講演形式，②ペーパーフェア，③ソフトウェア発表会（①，②ともアブストラクトは1件2ページとします。③に必要な機材の調達費用はご負担ください。）研究発表申込書とアブストラクトを下記にご郵送ください。締切日以前の到着をもって受け付けと致します。

アブストラクト送付先：〒812-81 福岡市東区箱崎6-10-1 松山久義(九州大学工学部化学機械工学科)

申込書等請求先：〒113 文京区弥生2-4-16  
学会センタービル3階 日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

問合せ先：江口麻里 Tel.092(642)3535

E-mail：eguchi@chem-eng, kyushu-u. ac. jp

### ●平成9年度秋季研究発表会

日程：平成9年9月10日(水)～11日(木)研究発表会  
9月12日(金) 見学会

場所：東京経済大学（東京都国分寺市）

実行委員長：棚橋啓世（東京経済大学）

実行副委員長：川島幸之助（日本電信電話）

### ●研究部会・グループ開催案内

〔評価のOR〕

第20回

日時：12月7日(土) 13:30～17:00

場所：工学院大学新宿校舎 8階 0865教室 (84名収容)

テーマと講師：

(1)「DEAによる公営企業の業績測定－わが国水道事業の実例－」 会田一雄（慶応義塾大学）

本報告では，わが国水道事業を対象に，包絡分析法の一類型として最近開発されたレンジ補正型加法モデルの有効性を論じていく。まず，地方公営企業の存立意義に照らして，包絡分析法の適用領域を取り上げ，続いて，レンジ補正型加法モデルの特性を論じた後，関東地方の市営末端給水事業のデータを利用した業績測定結果を紹介する。なお，感度分析を利用した上記モデルの妥当性についても検討を加える予定である。

キーワード：公営企業，DEA，レンジ補正型加法モデル  
(2)「階層的意思決定法による我が国製造メーカーのアジア各国における経営環境評価」

中村達生（東京大学）

近年市場が急拡大している東アジア地域における製造企業の経営環境を階層的意思決定法（以下，AHP）を用いて定量的に評価した。本研究ではまず，日系製造企業がアジアにおいて操業する際に重視する経営環境要因をAHPを用いて定量的に評価した。次にアジア各国の現在／将来の経営環境を数値化し，相対的な立地可能性を評価した。AHP評価は，自動車産業，電機産業を中心に実施し，産業別／規模別／対象市場などの相違により類型化を行い，それぞれの経営環境要因の違いを明らかにすることを試みた。

キーワード：階層的意思決定法，AHP，製造企業，アジア戦略

(3)「DEAの完全な基礎」 末吉俊幸（東京理科大学）

3年間にわたって研究部会「評価のOR」ではDEA，AHPを中心に理論的および応用面での話題が議論されてきた。一般講演の最後をDEAの代表的研究者である末吉教授に基礎に立ち返って講演していただく。

キーワード：効率性の視覚的表現，コスト効率性，利益効率性，予算制約

なお、部会発表終了後、懇親会を予定しております。

**問合せ先:** 成蹊大学 上田 徹  
Tel.0422(37)3793 Fax.0422(37)3869  
E-mail: ueda@is.seikei.ac.jp

**〔環境問題〕**

**日 時:** 12月18日(水) 15:00~17:00  
**場 所:** 東京ガス(株) 13階1307会議室  
JR浜松町駅南口(モノレール側) 出て左すぐ  
(東京都港区海岸1-5-20)

**テーマと講師:**「地球温暖化予測シミュレーション」  
森田恒幸(環境研究所地球環境研究グループ)

**問合せ先:** キックス総研(株) 小池 清(研究グループ  
会員募集中)  
Tel.03(3769)2260 Fax.03(3769)2260

**〔COMのための生産計画・スケジューリング〕**

**第18回**

**日 時:** 12月19日(木) 18:30~20:30  
**場 所:** 青山学院大学 青山キャンパス総研ビル  
**テーマと講師:**「2工程並列機械フローショップにお  
ける生産計画問題バッチサイズの決定とスケジュー  
リング」 今泉 淳(早稲田大学)  
多品種を生産する2工程並列機械フローショップに  
おいて、各ジョブのバッチサイズの決定とスケジュー  
リングを同時に行う生産計画問題を扱う。ここでは、  
計画期間に対する生産要求(品種と量)が予め与えら  
れたとき、生産要求をなるべく満たし、段取り替えを  
少なく保ちつつ、中間在庫をできる限り抑えるスケジ  
ュールが望まれる。このようなスケジュールを実現す  
るために、数理計画法によって、各ジョブの加工機械  
と加工量を決定し、中間在庫量を媒介としてこれを削  
減するよう上下工程を逐次反復的にスケジュールする、  
という2段階のアプローチを提案する。

**問合せ先:** 東京理科大学 西岡靖之  
Tel.0471(24)1501(内線3818) Fax.0471(22)4566  
E-mail: nishioka@iaws-20.ia.noda.sut.ac.jp

**〔待ち行列〕**

**日 時:** 12月21日(土) 14:00~16:30  
**場 所:** 東京工業大学 本館1-94号室  
**テーマと講師:**  
(1)「2層型待ち行列網モデルとその応用」  
紀 一誠(NEC C&C研究所)  
(2)「Separability in a multi-node queueing system  
with a common setup server」  
Genji Yamazaki(Tokyo Metropolitan Inst. of

Techn.), Onno J. Boxma(Tilburg University)  
**問合せ先:** NTTマルチメディアネットワーク研究所  
小沢利久 Tel.0422(59)4593 Fax.0422(59)2829  
E-mail: toshi@hashi.ntt.jp

**〔組合せ最適化〕**

**日 時:** 12月21日(土) 13:00~  
**場 所:** 東京工業大学(西3A号館515号室)  
**テーマ:** 修士2年の学生数名が研究途中の成果につい  
て報告します。詳しくは次のURLをご覧ください。  
[http://www.is.titech.ac.jp/labs/kojimalab/  
maiko/costa.html](http://www.is.titech.ac.jp/labs/kojimalab/maiko/costa.html)

**問合せ先:** 東京工業大学 繁野麻衣子  
Tel.03(5734)3219  
E-mail: maiko@is.titech.ac.jp

**●会合案内**

**〔第42回丸の内OR研究会〕**

**日 時:** 12月11日(水) 18:30~21:00  
**場 所:** 学士会館(神田錦町3-28)  
**テーマ:** ロボットとの共存  
**講 師:** 花田道雄(株)安川電機 サービスロボット推  
進室長)

**参加費:** 丸の内OR研究会会員(無料)  
非会員(4,000円)当日受付でお支払いください。た  
だし、参加については1週間前までにお問い合わせ  
ください。

**問合せ先:** トーマツ・コンサルティング(株) 松下芳生  
Tel.03(3457)6745

**●研究グループ新設のお知らせ**

**〔環境問題〕**

最近の環境問題は公害、ゴミ問題から地球温暖化防  
止、エネルギー問題まで幅広い社会問題である。企業  
にとってはISO規格による環境管理システム導入管理  
という当面の問題もある。いずれにせよ問題は複雑多  
岐になっており、その解析や対策立案にあたってはOR  
的アプローチが大いに役立つと思われる。本研究グル  
ープは問題の核心をさぐる意味から環境各分野の専門  
家から話を聞きディスカッションすることに活動の中  
心をおく予定。現在グループ会員募集中。

**問合せ先:** キックス総研(株) 小池 清  
Tel.03(3769)2260 Fax.03(3769)2260

●他学協会案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

☆第2回ASPシンポジウム(協賛)

企画：システム制御情報学会応用信号処理研究分科会

日程：1997年2月6日(木)・7日(金)

場所：あさぎり荘(兵庫県城崎郡城崎温泉)

参加費：協賛学会会員 20,000円 同学生 15,000円

問合せ先：大阪大学工学部通信工学科 前田 肇

Tel.06(879)7744 Fax.06(879)2017

E-mail: asp97@comm.erg.osaka-u.ac.jp

☆第27回信頼性・保全性シンポジウム(協賛)

テーマ：信頼性技術の伝承と発展

主催：(財)日本科学技術連盟

日程：1997年7月3日(木)・4日(金)

場所：日本青年館(東京・千駄ヶ谷)

特別参加費：5,150円(報文発表者本人)

発表申込締切：1997年1月20日(要アブストラクト)

問合せ先：(財)日本科学技術連盟 R&MS係

Tel.03(5379)1224 Fax.03(3225)1814

会員名簿刊行のお知らせ

(事務局)

1995年版の会員名簿(会員限定)が発刊されました。E-mail addressも登録され、3年振りの改訂版です。まだ残部がありますので、購入ご希望の会員の方には、1冊4,000円でおわけいたします。FAXもしくはハガキでお申込みください。(消費税は非課税です)

氏名・会員番号・代金支払方法(振込でお願いいたしますが、請求書等必要の有無など)をご記入ください。

●平成9年度会費納入のお願い(事務局)

平成9年度の会費請求書をお送りいたしましたので、お早めにご送金くださるようお願いいたします。なお、8年度以前の会費を未納の方は合わせてお支払いくださるよう重ねてお願いいたします。

〔預金口座振替ご利用の方へ〕

平成9年度会費振替は平成9年1月20日(月)になります。振替金額の不足のないよう、預金残高をご確認いただければ幸いです。

なお、平成9年度から預金口座振替をご希望の正会員の方は、学会事務局までTEL、FAX、郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。

●APORS'97のお知らせ

アジア太平洋地域のオペレーションズ・リサーチ学会の国際的組織であるAPORS(The Association of Asian-Pacific Operational Research Societies with in IFORS)の第4回会議APORS'97が開催されます。

日程：1997年11月30日～12月4日

テーマ：'Coexistence Between Human, Natural & Technological Resources'

場所：オーストラリア メルボルン市

ご存じのように第3回会議APORS'94は1994年7月わが国の福岡市で開催されました。次回の会議は南半球で初めて開催されるもので、オーストラリアおよびニュージーランド・オペレーションズ・リサーチ学会が共催するものです。

問合せ先：CALL FOR PAPERSを学会事務局あてご請求ください。Fax.03(3815)3352

学会事務局年末年始休業のお知らせ(事務局)

平成8年12月30日(月)～平成9年1月7日(火)

### 全世界の OR に関する文献の Abstracts 専門誌

#### IAOR を活用しよう

IAOR (International Abstracts in Operations Research) は IFORS (International Federations of Operational Research Societies) が発行している世界の OR 関係の論文および単行本の英文アブストラクト誌です。年6回発行され、約2400編のアブストラクトが収録されています。カバーされている雑誌は、主要なものだけでも50種を超えています。

内容は、モデル、実施例、理論の3つの部門にわかれ、その中がさらに細かく分類されています。著者索引および非常に便利な項目索引もあって文献を探すのにとっても便利です。お申込みは当学会事務局へ。(申込締切:12月末日)

1997年購読料:10,000円(送料込)

#### 雑誌 EJOR 購読者募集

European Journal of Operational Research (EJOR) は、Association of European Operational Research Societies (EURO) と North Holland 出版社との共同出版によるもので、1997年は、Vol. 96-103が発行されます。個人購入もできますが、当学会では、割引価格でお取り扱いしています。

発行回数:年24回(8巻,24冊)

使用言語:英語

内容:あらゆる分野における OR に関する優れた論文、連絡事項として、letters や新刊書(最近1年間のもの)の批評、短評(紹介)。1997年購読料:個人40,000円、大学350,000円(いずれも送料込) お申し込みは当学会事務局へ。(申込締切:12月末日)

#### APORS の論文誌 “APJOR” への

#### ご投稿とご購読のお願い

APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research) は、その Official Journal という性格から、APORS 加盟各国から Associate Editors への参加が求められており、日本 OR 学会からは、若山邦紘教授(法政大学)と茨木俊秀教授(京都大学)が参加されています。これからも同誌を一層もり立ててゆくため、論文の投稿・雑誌の購読についてご協力をお願いいたします。

1997年購読料:2,000円(送料込)

雑誌はシンガポール OR 学会から貴殿宛直接送られます。(5月・11月発行予定)お申込みは当学会事務局へ。(申込締切:12月末日)